

## 令和元年度 福井県立丹生高等学校 学校関係者評価書

- (問) ①スクールプランの重点目標や具体的な取り組み等が適切か。  
②学校評価書の成果と課題が適切か。  
③成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

評価者 令和元年度丹生高校スクールモニター 5名  
朝日地区1名 織田地区1名 宮崎地区1名 越前地区1名、  
現PTA現会長1名

### 【中高一貫教育】

- ・地域と連携した探究活動など模索した成果として、魅力化が図られ、保護者の9割近くが中高一貫での人材育成を肯定的にとらえていることは評価でき適切である。
- ・中高一貫教育の魅力を増すこと、国際的視野を広めることの両面を強化するために海外研修を行うことは方法として効果的である。
- ・まだ中高一貫教育が十分に周知されていないところも感じられるので内容ある情宣を期待したい。また、中高一貫教育の説明を実際所属している生徒や生徒の保護者が希望する保護者と意見交換を行っていただきたい。

### 【教育課程・学習指導】

- ・共通テーマを設け、生徒の学習意欲や応用力を高める授業研究に取組み、基礎力の定着化が図れている。今後ともICT活用授業の推進に取組むと共に、さらなるICT関連の教育環境整備が急務である。
- ・「NYU LIFE」を活用し、生徒とのつながりをつくり、計画的な学習を身につけさせることは適切である。
- ・学習習慣に関して60%を切っているということであるが、何を基準としているかはっきりした方がよい。

### 【生徒指導】

- ・携帯電話に関するルールもほとんどの生徒が守っていることは評価できる。さらなる先生方の指導をお願いしたい。
- ・教員の働き方改革があり、生徒の学習指導と部活動指導の両立が難しくなっている中、生徒の主体的自立的な部活運営がなされたことは評価できる。また、部活動に関しては、統廃合を検討し、先生や生徒が余裕ある学校生活を送ることができるよう考えていくべきである。

### 【進路指導】

- ・進路学習が整備されていると回答した保護者の割合が約85%と高く目標を上回ったことは評価できる。今後、2021年から実施される大学入学共通テストについて、受験生の不安を払拭し、安心して受験できるよう情報収集などお願いしたい。また、進路指導部だけでなく、先生方、保護者、生徒がお互い相談し合い、最終的には生徒自らが決断できるような環境づくりをお願いしたい。
- ・現在、大学、専門学校、就職を分かれた進路になっているが、今後大学進学に力を入れていくと良い。

**【保健管理・教育相談】**

- ・ 教室内の環境整備、活発な清掃活動が進んでおり、教員が指導する場面が減ってきていることに対しては評価できる。
- ・ 健康管理は学校生活だけでなく、家庭での生活習慣が重要であることから、保護者への協力や理解が得られるよう連携を深めていただきたい。

**【読書指導・情報管理】**

- ・ 情報過多の時代に、読書冊数を増やすということは容易ではないと思うが、読書冊数増加の割合が3.7%増加したことは評価できる。
- ・ HPの更新を行事のたびごとに、わかりやすく実行され、閲覧数の増加が図られていることは評価できる。HPの更新に関しては先生方、保護者、生徒が情報交換し、さらに魅力ある内容になるよう期待したい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・ 自己評価と学校関係者の方からのご意見やご指摘をもとに、次年度の目標・具体的取組を精査し教職員一丸となって目標達成をめざし、本校の教育活動の充実に取り組みたい。